

# 「ちばの魅力ある職場づくり公労使会議」へ森会長参加

広報委員 井口政幸

平成30年11月1日(木)、千葉市内のホテルで、千葉労働局主催の「平成30年度第2回ちばの魅力ある職場づくり公労使会議」が開かれました。千葉県、日本労働組合総連合会千葉県連合会、千葉県経営者協会、千葉県中小企業団体中央会、千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会、千葉銀行、千葉信用金庫の構成会員のほか8のオブザーバー団体が参加しました。千葉県社会保険労務士会は、森義隆会長が初めて千葉県税理士会と共にオブザーバーとして出席しました。

始めに高橋秀誠千葉労働局長から今回の取り組みの趣旨説明がありました。①「働き方改革」セミナーを開催する。具体的には、商工会議所等の協力を得て、労働局・監督署・ハローワーク等が講師となり、県内10カ所のブロックで開催する。②11月7日にJR千葉駅前で街頭キャンペーンを実施する。③働き方改革に取り組んでいる企業の好事例を収集し、ホームページ等を活用して取組事例を公開する、というものです。

次に、千葉県等行政や労働団体及び使用者団体の8団体から、今回の働き方改革を進めていくに当たっての強い決意表明がなされました。

公労使会議終了後には、シンポジウムが開催されました。開催に先立ち滝川伸輔千葉県副知事、高橋労働局長から開催の挨拶があり、働き方改革が皆さんの力で千葉県内すべての事業所に定着するように、行政として協力する旨の発言がありました。

基調講演は、「いまこそ必要な働き方改革～人材確保、生産性・収益アップの環境づくり」と題して、一般社団法人日本ダイバーシティ・マネジメント推進機構専務理事の油井文江氏が、個人の体験を踏まえ、現在の人手不足時代に合った職場環境についてお話されました。ついで、事例発表とパネルディスカッションが行われ、介護施設や建設会社の働く環境整備を進める上でのポイントや今後の展開について、話し合いが行われました。

最後に働き方改革関連法の概要について、千葉労働局労働基準部西川聡子監督課長から説明がありました。

